

米国環境保護庁
ワシントン, D.C. 20460

大気放射局

2018年10月11日

ENERGY STAR®コンピュータパートナーまたは他の関係者各位

このレターをもって、米国環境保護庁(EPA)は ENERGY STAR コンピュータ試験方法を米国エネルギー省(DOE)のアップデートにあわせてリリースし、ENERGY STAR コンピュータ適合基準バージョン 7.0 にも適用する。このアップデートでは代替低電力モード(ALPM)の測定において、長期または短期アイドルモードで周期的な動作を示す製品、エンドユーザが取り外せない可能性のあるバッテリー付き製品についての不明点を解消する。すでに基準バージョン 7.0 に適合した製品には、この修正は影響を与えない。

査証プロセスにおいて、ENERGY STAR コンピュータ試験方法の代替低電力モード(ALPM)に関してセクション 6.3 の必要性について関係者から提案があった。DOE は ALPM を記述した目的は ALPM 試験の実行方法を示すことであり、測定時に ALPM がどのような条件で使用されるかを示すものではないとしている。計算方法は以下に示す。したがって、DOE は試験方法の記述は提案通りには訂正していない。

基準バージョン 7.0 に適合するために、代替低電力モード(ALPM)について以下の説明を追加する。

- ・ セクション 3.5 ノートブック、デスクトップおよび一体型デスクトップの TEC 計算式において、代替低電力モードをスリープモードと長期アイドルモードの代わりに使用する製品は、ALPM が 10 ワット以下の場合、計算式 1 において (P_{ALPM}) を (P_{SLEEP})と(P_{LONG_IDLE}) の両方に使用できる。すなわち($P_{SLEEP} \times T_{SLEEP}$)と($P_{LONG_IDLE} \times T_{LONG_IDLE}$)は、($P_{ALPM} \times T_{SLEEP}$)と ($P_{ALPM} \times T_{LONG_IDLE}$)となる。
- ・ ALPM を備えた製品は、使用者による非利用時間が 30 分を超える前に ALPM が開始するように設定し、1Gb/s 以上のイーサネットワークリンク速度はスリープモードまたはオフモードに移行するときに低減すること。または、代替低電力モードに移行するときは EEE 状態になること。

当該基準についての質問または懸念事項に関しては、小職 Fogle.Ryan@epa.gov (202-343-9153)または John Clinger, ICF, John.Clinger@icf.com (215-967-9407) に連絡のこと。試験方法に関しては、米国エネルギー省の Jeremy Domm, Jeremy.Domm@EE.Doe.Gov (202-586-9870)に連絡のこと。他のコンピュータ関連の質問に関しては、computers@energystar.govに連絡のこと。

ENERGY STAR プログラムへの変わらぬ支援に感謝する。

Ryan Fogle

ENERGY STAR IT 及びデータセンター製品、EPA マネージャー

同封：

ENERGY STAR コンピュータ基準バージョン 7.0 (2018 年 10 月訂正)